甲南医療センター

外科

指導担当医（役職）

後藤　直大（診療部長）

実習概要

概要

4週間の実習のなかで入院患者3～4名を担当し、主治医団の一員として術前から手術、術後管理の一連の外科診療を経験する。手術にも参加し、術後経過を観察し異常が生じた場合は検査・治療の立案をします。担当患者を通じて1つの疾患の病態と治療について理解を深めます。初期研修医同様、担当患者以外の手術にも参加し、解剖の理解を深めるとともに閉創の皮膚縫合や状況に応じて腹腔鏡のスコピストなど実際の手技を行います。

医療面接、身体診察など

主治医団の一員として毎日担当患者を訪室し、身体診察に加え医療面接を行います。
また縫合実習、腹腔鏡用ドライボックスなどでのトレーニングを行います。

病歴要約、手術記録作成

4週間の実習のなかで経験した代表的症例についての病歴要約の作成、参加した手術に関する手術記録作成を上級医の指導のもとに作成します。

症例プレゼンテーション

毎週火曜日、金曜日の病棟カンファレンスにおいて担当患者さんの病状についてプレゼンテーションを行います。また毎週火曜日午後の術前検討会で研修医とともに手術患者のプレゼンテーションを行います。

その他（特色など）

当院は緊急手術の割合が比較的高いことが特徴です。救急外来での診察から手術、術後管理といった一般病院ならではの経験が可能です。

消化器外科以外の乳腺外科や呼吸器外科への手術参加は希望があれば対応します。

学生へのメッセージ

外科実習を通して学ぶ解剖やカンファレンスにおけるプレゼンテーションは内科系、外科系にかかわらず将来の進路の中で必ず役に立ちます。限られた時間ですが、当院で学べることを最大限活用して有意義な4週間にしてください。